TTC 提案山行実施記録表

2010 年 8 月 28 日　報告者：佐藤末治

山行名	**北ア　鷲羽岳・水晶岳・雲ノ平**　（2924m･m･2986m･2592m　長野県･岐阜県･富山県）
実施日	2010 年 8 月 18 日（水）～8 月 22 日（日）　4 泊 5 日　ﾏｲｶｰ(2 台)利用
天候／参加人員	天候：8/18 晴れ、8/19 晴れ、8/20 晴れ、8/21 晴れ、8/22 晴れ レベル:★★★　参加人員：8 名（男 3 名／女 5 名）
ﾊﾟｰﾃｨｽﾀｯﾌ	ＣＬ/計画：　ＳＬ：　会計：　救護： ﾄﾞﾗｲﾊﾞｰ：　氏　名　削　除
参加ﾒﾝﾊﾞｰ	A 班：(班長)、 B 班：(班長)、　氏　名　削　除
費用 **￥43,800－** ｶﾝﾊﾟ金￥1,300	内訳：ﾏｲｶｰ謝礼（@10×700 km×2）￥14,000、燃料費(@125×700km／8×2）≒￥21,600 ﾄﾞﾗｲﾊﾞｰ謝礼（@5,000×2 日×2）￥20,000、高速代（往路@2,750×2＋復路@1,000×2）¥7,500、**交通費合計￥63,100-** 宿泊費（鏡平山荘@8,800＋三俣山荘@8,900＋雲ノ平山荘@8,400＋双六小屋@8,800）×8 宿泊費合計**￥279,200-**(雲ノ平山荘は三俣山荘と同経営のため￥500/1 名割引有り) 通信費￥1,000、入浴代(@700×8)￥5,600、ｶﾒﾗのﾊﾞｯﾃﾘｰ充電￥200　**支出合計￥349,100-** 集金(￥43,800／1 名×8)　**￥350,400-**　(残金￥1,300 を TTC へｶﾝﾊﾟ金とする)

歩行・行動時間		歩行時間	休憩時間	行動時間	備考
8/18	ｶﾞｲﾄﾞﾌﾞｯｸ	5:10			初日の寝不足と暑さでﾍﾟｰｽが上がらず。（記録されていない小休止多数）
	計画	5:10	0:30	5:40	
	実行	5:53	0:47	6:40	
8/19	ｶﾞｲﾄﾞﾌﾞｯｸ	5:20			
	計画	6:30	1:30	8:00	
	実行	6:22	1:33	7:55	
8/20	ｶﾞｲﾄﾞﾌﾞｯｸ	7:05			一日の行程がもっとも長い日。意識的にｽﾛｰﾍﾟｰｽを保ったのと、祖父岳から雲ノ平山荘までの時間が計画より 30 分ｵｰﾊﾞｰしたため、大幅に時間超過した。
	計画	7:20	1:55	9:15	
	実行	8:19	2:01	10:20	
8/21	ｶﾞｲﾄﾞﾌﾞｯｸ	5:35			
	計画	7:00	1:30	8:30	
	実行	6:45	1:20	8:05	
8/22	ｶﾞｲﾄﾞﾌﾞｯｸ	5:55			下界に近づいたこともあり、暑さにまいった。わさび平小屋で軽食休憩 30 分
	計画	5:50	0:30	6:20	
	実行	5:21	1:49	7:10	

実行コースタイム記録

◆8/18(水)　中央道　1:45　昼食　2:23

本厚木＝＝相模湖 IC＝＝談合坂 SA＝＝＝諏訪 SA＝＝松本 IC＝＝新穂高駐車場――わさび平小屋――
3:50　4:50　4:55 5:15　6:35 7:00　7:20　8:50 9:15　11:00 11:25

25　1:20

――ｲﾀﾞﾘヶ原―――ｼｼｳﾄﾞヶ原―――鏡平山荘
13:48 14:00　14:25 14:35　15:55

◆8/19(木)　1:00　1:25　1:32　50　昼食　35　1:00

鏡平山荘――弓折分岐―――双六小屋―――双六岳―――丸山―――三俣蓮華岳―――三俣山荘
6:00　7:00 7:15　8:40 9:00　10:32 10:45　11:35 12:00　12:35 12:55　13:55

◆8/20(金)　1:45　39　1:12　45　45　40

三俣山荘――鷲羽岳―――ﾜﾘﾓ岳―――水晶小屋―――水晶岳―――水晶小屋―――岩苔乗越――
5:45　7:30 7:45　8:24 8:38　9:50 10:05　10:50 11:05　11:50 12:30　13:10 13:20

1:03　1:30

―――祖父岳―――雲ノ平山荘
14:23 14:35　16:05

◆8/21(土)　1:00　1:40　50　昼食　55　2:20

雲ノ平山荘――水晶岳分岐―――黒部源流―――三俣山荘―――三俣蓮華峠―――双六小屋
5:45　6:45 7:00　8:40 8:50　9:40 10:25　11:20 11:30　13:50

◆8/22(日)　1:20　45　35　2:17　軽食　1:05　5

双六小屋―――弓折分岐―――鏡平山荘―――ｼｼｳﾄﾞヶ原―――わさび平小屋――新穂高駐車場――
5:40　7:00 7:10　7:55 8:15　8:50 9:00　11:17 11:45　12:50 13:05

15　昼食　1:30　2:00　2:45　1:00

――深山荘＝＝＝上宝道の駅＝＝＝松本 IC＝＝双葉 SA＝＝＝相模湖 IC＝＝＝厚木市内
13:10 13:55　14:10 15:00　16:30　18:30 18:45　21:30　22:30

コースの概要、特記事項、反省事項等

◆ 8/18　順調に高速道を走り予定よりかなり早く新穂高温泉に到着。深山荘手前の登山者用無料駐車場に車を駐車する。駐車場は平日だというのにほぼ満車状態、なんとか空きを見つけてほっとする。
新穂高温泉からわさび平小屋まではゆるやかな上り坂の林道歩きだが、これが意外と疲れる。ようやくわさび平小屋につき、昼食休憩。これから鏡平を目指す登山者の休憩ﾎﾟｲﾝﾄになっておりﾃｰﾌﾞﾙは満席だった。
　小池新道の上りも直射日光が容赦なく照りつけ、寝不足と車疲れの我々を苦しめる。こまめに休憩をとりながら、徐々に標高をかせぐ。ｼｼｳﾄﾞｹ原で休憩をしていると、ST さんがﾃﾞｼﾞｶﾒが無いとのこと。どうも前の休憩場所のｲﾀﾄﾞﾘｹ原で落としたものらしい。残念ながらｲﾀﾄﾞﾘｹ原まで戻る体力は残っておらず、後続の登山者に拾って来て貰えるのを期待して先に進む。ST さんのｶﾒﾗが本山行の公式ｶﾒﾗであったため、急きょ KE さんのﾃﾞｼﾞｶﾒを公式ｶﾒﾗとして借用する。これで何とか一安心。ｶﾒﾗを持たない ST さんなど気の毒で見ていられない。
　ﾊﾞﾃﾊﾞﾃで何とか鏡平山荘に到着、小屋は意外と空いており、12 名用の個室を貸切で快適だった。夕食前に待望の池に映る「逆さ槍」を見に行く。夕日に赤く染まった槍の穂先が池に映り、絶好のｼｬｯﾀｰﾁｬﾝｽ。最高の一枚を撮ることが出来た。ｶﾒﾗを持った登山客で、夕方のひと時大賑わいだった。
◆ 8/19　弓折岳分岐、双六小屋と休憩をとり、本山行最初の山頂、双六岳を目指す。手前の広い大地（通称双六飛行場）からは雲がかかり、期待した槍、穂高の景観は望めなかった。しかし、ﾊｲﾏﾂの緑の絨毯、硫黄岳の荒々しい景観は圧巻だった。双六、丸山、三俣蓮華の稜線は、多少のｱｯﾌﾟﾀﾞｳﾝはあるが開放的で快適な稜線歩きが楽しめる。ﾀﾃﾔﾏﾘﾝﾄﾞｳ、ｳｻｷﾞｷﾞｸ、ﾄｳﾔｸﾘﾝﾄﾞｳ等の花々にも大いに癒される。
◆ 8/20　心配していた鷲羽岳の登りも、早朝のため暑さを感じないで楽に登ることができた。山頂手前で OM さん待望の鷲羽池を望むことが出来た。山頂は 360 度の大展望。前回来たときは嵐の中で周りの景色はなにも見ていない。さっそく、記念撮影のやり直しをする。
　ﾜﾘﾓ岳を巻いて水晶小屋に到着。ここにｻﾞｯｸをﾃﾞﾎﾟして水晶岳を目指す。MM さん待望の日本百名山 98 座目を達成、感激の握手をかわす。
　祖父岳（ｼﾞｲﾀﾞｹ）は地味ながら山頂は広々とした岩山で気持ちがよい。ｶﾞｽったら道に迷いそうで、ｹﾙﾝが沢山建っている。皆で石ころの上に寝転んで、真っ青な空をしばらく眺めた。
　祖父岳から雲ノ平山荘間は水源保護のため、ｼｮｰﾄｶｯﾄの登山道は廃道になっていた。眼下にｷｬﾝﾌﾟ場が見えているのに、道はどんどん右にそれていく。CL も不安にかられ、何度も地図を確認する。ｺｰｽﾀｲﾑ 1:05 を 1:30 かけてようやく雲ノ平山荘に到着。行動時間 10:20 の長い一日だった。
　山荘はこの 8 月に完成したばかりで、山小屋の運営もまだ軌道に乗っていない。洗面所もなく、お世辞にも快適とはいい難い。先週の台風の影響か小屋は大混雑、ふとん一枚に 2 名が割り振られた。（CL はふとん部屋に逃げ込んでゆったりと寝た。）
◆ 8/21　昨日のﾙｰﾄを登り返して日本庭園から黒部源流へ。源流への下りは急坂で要注意である。源流から三俣山荘までの登りは、沢沿いの道で川の中を歩く箇所も多い。降雨時は要注意だ。
　三俣山荘でｵｰﾅｰの伊藤正一さんにお逢いする。伊藤さんは現在 87 歳、若い自分は物理学者で戦時中はﾀｰﾎﾞﾌﾟﾛｯﾌﾟｴﾝｼﾞﾝの研究をされ、戦後は音響関係の研究をされた経歴の持ち主。ﾊﾞｲｵﾘﾝの構造について特許を数件取られたそうで、音楽家の OM さんは、感動して長い時間話がはずんでいた。
　三俣山荘から最後の急登で峠まで登り返す。ここからはﾙﾝﾙﾝ気分の巻き道ﾙｰﾄ･･･のはずだったが、これが意外ときつかった。ﾄﾗﾊﾞｰｽ道は基本的にｶﾞｹが多く、緊張を強いられる。
　双六小屋は北ｱﾙﾌﾟｽの交差点。さすがにかゆい所に手が届く設備と従業員の応対が気持ちがいい。夕食のﾒﾆｭｰは天ぷらでﾎﾞﾘｭｰﾑたっぷり。ご飯のおかわりをしたﾒﾝﾊﾞｰは誰もいなかった。
◆ 8/22　穂高の絶景におさらばし、小池新道を快調に下る。山行も 5 日目となると、疲れもﾋﾟｰｸに達し急坂が辛い。下界に近づくにつれて、暑さが増してくるのが良くわかる。わさび平小屋で冷たい冷やしそうめんを食べて人心地ついた。ちなみに冷やしそうめんのお値段は 700 円。
　車にｻﾞｯｸを入れ、入浴ｾｯﾄを持って駐車場より５分の深山荘に向かう。吊橋を渡って右に露天風呂があるが我々は５日間の汗を流すため、ｼｬﾜｰのある内風呂に入る。残念ながら日帰り入浴客の食事は出来ないため、上宝奥飛騨温泉郷道の駅によって、遅めの昼食をとり帰路につく。途中韮崎付近で事故渋滞、談合坂付近で 35ｋｍの自然渋滞等があり、厚木へは 10:30（ST 車は 11:00）帰着する。

◆ 最後に
　4 月の計画立案から山行ﾘｰﾀﾞｰまで務めさせていただいたが、4 泊 5 日のﾛﾝｸﾞ山行でもあり実施前日までは今までに無く緊張を強いられた。しかし、始まってしまえば気心のしれた仲間同士。助け合いながらの楽しい山行となった。これといったｱｸｼﾃﾞﾝﾄもなく、北ｱﾙﾌﾟｽの最深部を 5 日間、歩き通すことが出来たのも、参加者全員がお互いを思いやる気持ちと、つたないﾘｰﾀﾞｰを支えてくれたお陰と感謝している。
　参加ﾒﾝﾊﾞ 8 名中 7 名が 60 歳以上。内 3 名は 70 歳以上というﾒﾝﾊﾞ構成で、この山行の成功はまさに快挙であったと思う。
ご参加頂いた皆さん、ご協力本当にありがとうございました。

以上